

がん診療連携拠点病院連絡協議会

## がん登録部会 報告

## 拠点病院 全国集計

# がん診療連携拠点病院等 院内がん登録の全国集計

2

- **2007年診断症例** (2009年3月収集:2009年11月公表)
  - **初の都道府県別集計** **約32万件:305施設**
- **2008年症例** (2010年2月収集:2011年6月公表)
  - **初の施設別集計** **約43万件:362施設**
- **2009年症例** (2011/1収集:2012/3公表) **約49万件:377施設**
- **2010年症例** (2011/12収集:2012/11公表) **約55万件:387施設**
- **2011年症例** (2012/12収集:2013/8公表) **約58万件:397施設**
  - **拠点病院外(県推薦病院)も集計** **+約9万件:156施設**
- **2012年症例** (2013/12収集:2014/8公表) **約62万件:397施設**
  - **UICC TNM分類第7版を採用** **+約15万件:236施設**
- **2013年症例** (2014/10収集:2015/7公表) **約66万件:409施設**
  - **小児拠点病院(一部施設)も集計** **+約17万件:285施設**
- **2014年症例** (2015/9収集:2016/7公表予定) **約67万件:421施設**
  - **全小児拠点病院も集計** **+約21万件:313施設**

## 2014年全国集計 報告書結果抜粋(拠点病院等)

3

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
拠点病院数(調査時)	288	351	377	388	397	397	409	<b>422</b>
集計対象施設数	287	359	370	387	395	397	409	<b>421</b>
全登録数	327,889	428,195	487,441	548,979	584,120	613,377	656,272	<b>670,205</b>
男性	188,216	243,300	277,350	310,265	330,597	345,570	367,761	<b>375,606</b>
女性	139,673	184,895	210,091	238,714	253,523	267,807	288,511	<b>294,599</b>
上皮内癌等を含まない	-	-	442,060	494,261	523,383	545,726	579,908	<b>590,916</b>
1施設当たりの全登録数								
中央値		1,038	1,150	1,251	1,313	1,363	1,398	<b>1,402</b>
最小値		136	155	168	162	175	158	<b>119</b>
最大値		8,600	8,866	8,620	8,174	8,617	9,339	<b>9,147</b>
症例区分8を除く集計件数			471,827	530,363	563,422	590,856	629,491	<b>643,480</b>
(全登録数に占める割合)			(96.8)	(96.6)	(96.5)	(96.3)	(95.9)	<b>(96.0)</b>
症例区分2/3の集計件数			403,996	451,058	475,924	497,725	527,117	<b>539,064</b>
(全登録数に占める割合)			(85.6)	(85.0)	(84.5)	(84.2)	(80.3)	<b>(80.4)</b>
(参考)								
地域がん診療病院及び特定領域がん診療連携拠点病院を除く全登録数	-	-	-	-	-	-	654,745	<b>661,322</b>
中央値							1,413	<b>1,447</b>
最小値							158	<b>169</b>
最大値							9,339	<b>9,147</b>

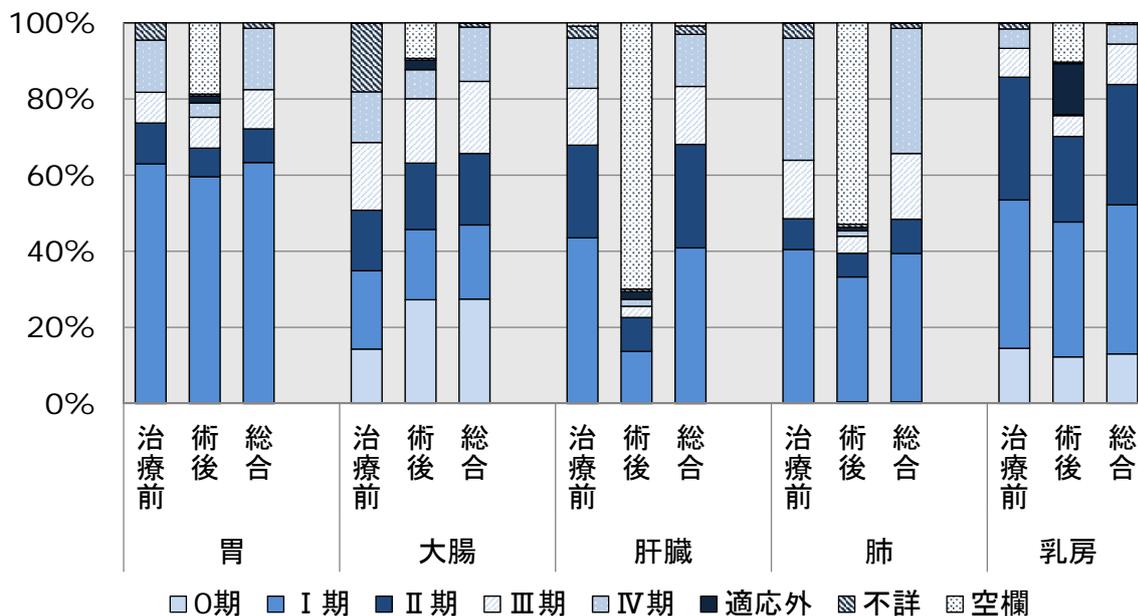
## ● 臨床病期関連集計

- **集計部位の追加** (院内がん登録実務中級認定者在籍施設)  
食道、膵臓、前立腺、子宮頸部、子宮内膜、膀胱、甲状腺
- **病期集計対象の組織形態コード範囲の変更**  
肺、膵臓: 従来の定義に加え、8240-8245、8248、8249を追加  
前立腺: 8120-8131除外

## ● UICC TNM分類

- **総合ステージの追加**  
治療開始時点でのがんの状態を示す指標  
術後病理学的ステージを優先し、不詳(適応外)の場合は治療前ステージ

UICC TNM分類ステージ分布(症例区分2, 3、癌腫)



## 2014年全国集計 報告書結果抜粋(県推薦病院)

6

	県推薦病院				拠点病院	合計
	2011年	2012年	2013年	2014年	2014年	2014年
施設数(調査依頼)	-	298	309	335	422	-
集計対象施設数	155	236	284	306	421	727
全登録件数	89,085	152,746	174,123	207,841	670,205	878,046
中央値(1施設当たり)	501	585	586	623	1,402	2,025
最小値(1施設当たり)	46	41	20	16	119	135
最大値(1施設当たり)	2,427	2,722	1,765	4,113	9,147	13,260
症例区分8を除く集計件数	88,060	150,173	171,337	203,547	643,480	847,027
(全登録数に占める割合)		(98.3)	(98.4)	(97.9)	(96.0)	(96.5)
症例区分2/3の登録件数	73,296	124,299	140,775	164,786	539,064	703,850
(全登録数に占める割合)		(81.4)	(80.8)	(79.3)	(80.4)	(80.2)

## 院内がん登録 全国集計の公表方法等

7

- 集計値10以下の「-」表示
  - 関係部局と調整した上、集計値の多寡を問わず、公表
- コピー可のpdfファイルでの公開
  - 印刷 並びに テキスト・画像その他の内容のコピーも可に EXCEL等の数値ファイルの提供
  - 公開数表については、施設名入り数表も含めて、MS EXCEL形式での提供を検討する
- 個票データの連番を固有番号化( **C\_ID** ) 拠点病院 連絡協議会に諮る
- 県推薦病院の扱い
  - 2016年全国集計以降、拠点病院以外の全国集計について、県推薦病院に加え、手上げ方式で参加を募る

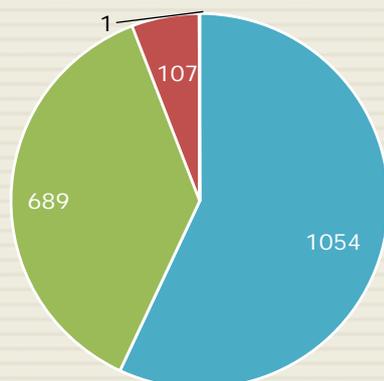
# 予後調査支援事業

## 平成27年度予後調査支援事業

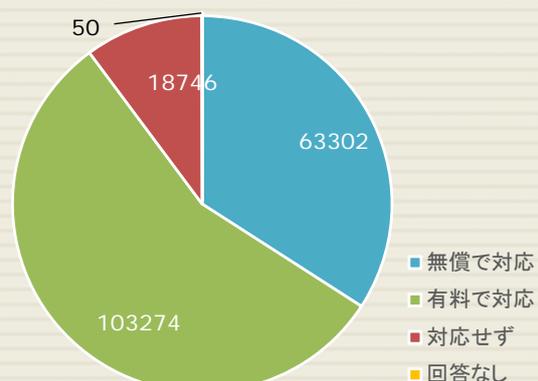
9

- **2009年5年**および**2011年3年**予後調査を住民票照会の形で支援
  - 平成27(2015)年8月に**189,008例(254施設)**を対象リストとして収集
  - 平成27(2015)年11月に**1851市区町村**に照会

調査結果(市区町村数)



調査結果(症例数)



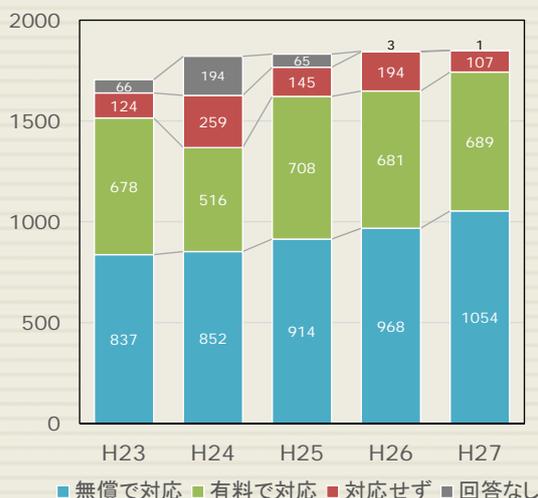
■ 無償で対応  
■ 有料で対応  
■ 対応せず  
■ 回答なし

# 予後調査支援事業の推移

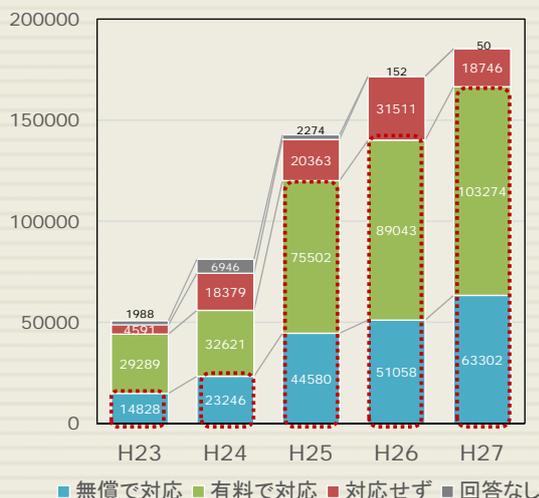
10

- 有料対応に支払っての調査は、平成25年以降
- 平成27年度は、本人通知制度適用例も調査

調査結果(市区町村数)



調査結果(症例数)



# 予後調査支援事業について

11

## 1. 県推薦病院の参加

- 来年度から(2011年5年の対象となる)  
県推薦病院からの参加についても許容

## 2. データ保持期間の延長

拠点病院  
連絡協議会に諮る

- 十分なセキュリティを確保した上で、  
**NCC**で10年程度の保管も可能にする  
(委託業務の形で契約を交わす形とする)
- 施設によって、  
従来通りの調査終了後「破棄」と  
「10年保管」を選択できる形とする

# 拠点病院 生存率集計

## 2008年生存率集計 集計対象の概要

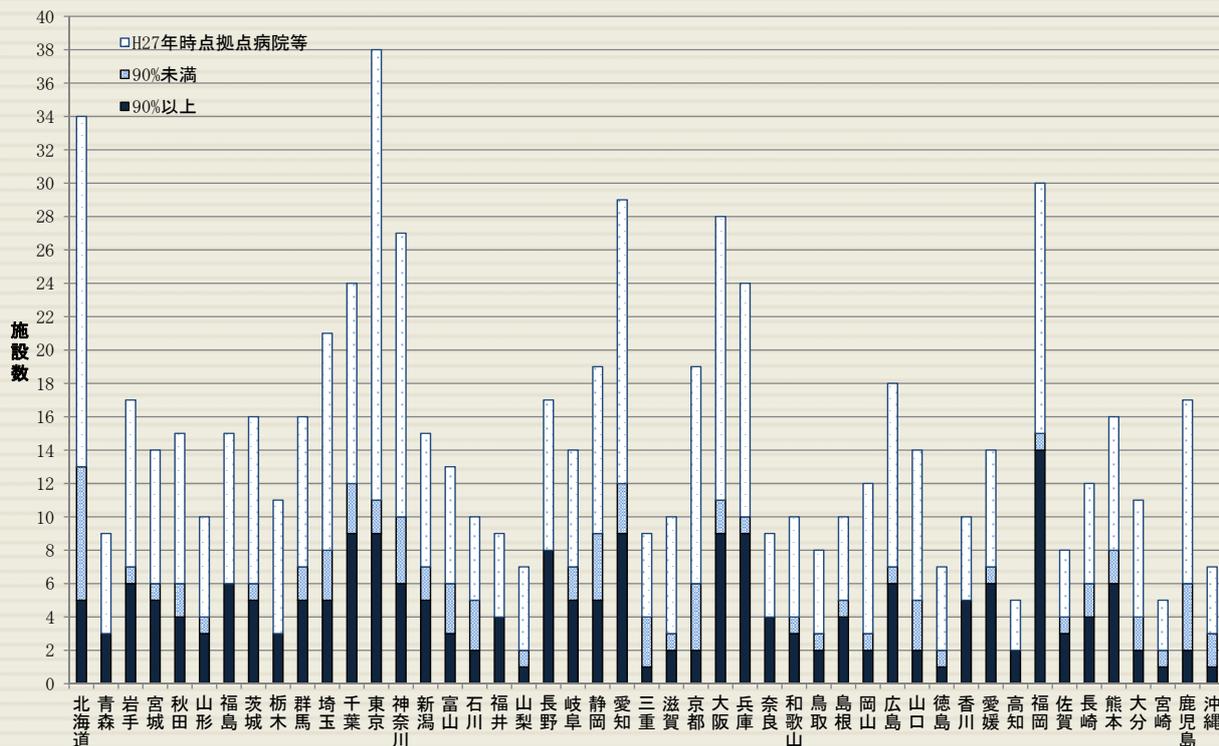
13

- 291施設から37万件のデータの提供  
集計の対象は、**21万件**

	集計対象外施設		集計対象施設		全体	
	82施設	(%)	209施設	(%)	291施設	(%)
全登録数	91,102	100.0	<b>283,102</b>	<b>100.0</b>	374,204	100.0
症例区分(2, 3)	76,842	84.3	<b>233,983</b>	<b>82.6</b>	310,825	83.1
症例区分2, 3のうち						
良性	1,122	1.5	2,683	1.1	3,805	1.2
良性又は悪性の別不詳	192	0.2	510	0.2	702	0.2
上皮内癌	6,064	7.9	19,455	8.3	25,519	8.2
悪性新生物<腫瘍>	69,464	90.4	211,335	90.3	280,799	90.3
<b>集計対象腫瘍*</b>	70,778	92.1	<b>214,528</b>	<b>91.7</b>	285,306	91.8
症例区分2,3、集計対象腫瘍のうち						
<b>年齢 0~99歳</b>	70,764	100.0	<b>214,494</b>	<b>100.0</b>	285,258	100.0
除外対象	54	0.1	25	0.0	79	0.0
性別不詳	0	0.0	-	-	-	-
追跡終了日不明	-	-	-	-	-	-
総合ステージ0期	49	20.4	21	2.5	70	6.5
<b>集計対象例</b>	0	-	<b>214,469</b>	-	214,469	-

# 2008年生存率集計 調査参加/集計対象施設

14

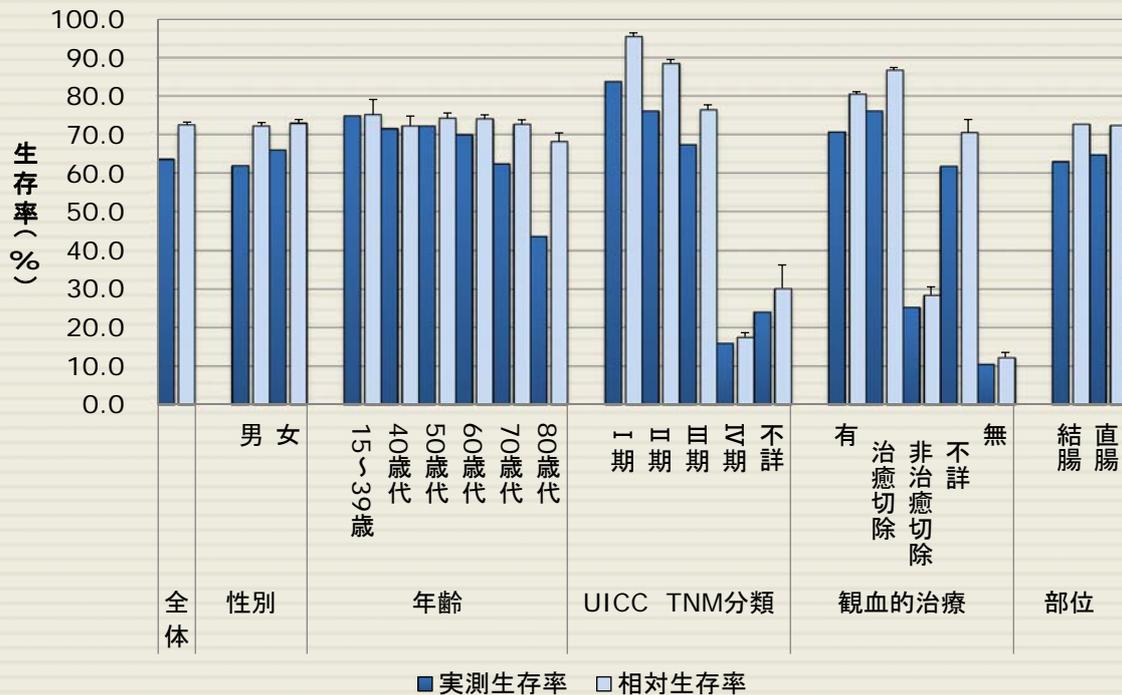


# 2008年生存率集計 報告書(案)

15

- 相対生存率に加え、実測生存率を追加
- 集計対象部位  
全がん、主要5部位、食道、膵臓、前立腺、子宮頸部、子宮体部、膀胱
- 集計単位別の集計値算出方針
  - 【院内がん登録集計対象施設全体】  
性別、年齢階級別、観血的治療実施別(原発巣・治癒、非治癒、別不詳)、  
UICC TNM分類 **総合ステージ別**(但し、全がん\*を除く)
  - 【都道府県】  
全がん、主要5部位、食道、膵臓、前立腺、子宮頸部、子宮体部、膀胱  
対象例の属性:性別、年齢階級別、観血的治療実施別、総合ステージ分布
  - 【施設】  
全がん、主要5部位  
対象例の属性:性別、年齢階級別、観血的治療実施別、総合ステージ分布

大腸 (N=26,219)



## 生存率集計の公表について

### 1. 施設別公表の形について

- 集計参加施設の生存状況把握割合と件数を公表
- 生存率他の数値については、  
集計対象の生存状況把握割合90%以上の**209施設**を公表
- 相対生存率と実測生存率を公表
- 主要5部位を公表(全がんについては背景情報のみ?)
- 各区分50例以上の場合にのみ、公表

### 2. コメントの収集・付記について

- 事前に生存率集計協力施設に、報告書原案配布  
→ 県全体と施設からのコメントを収集して掲載する

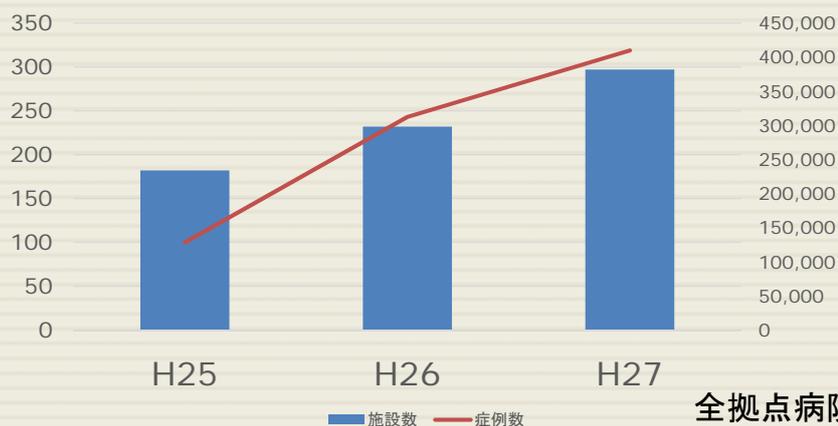
# がん登録部会 QI研究

## がん登録部会QI研究 データ収集状況

19

- 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会  
がん登録部会を通じて参加募集(QI研究を主体)
- 基本的に自施設治療例の診断前年10月～翌年末までの  
DPCデータを収集(2013年症例は2012年10月～2014年末)

参加施設数・症例数



全拠点病院の68%が参加

# がん登録部会QI研究 結果の報告

20

2012年症例



[http://www.ncc.go.jp/jp/cis/divisions/06health\\_s/06health\\_s\\_01.html](http://www.ncc.go.jp/jp/cis/divisions/06health_s/06health_s_01.html)

過去～2013年症例

<https://www.cis-ncc.jp/qifedback/>



## がん登録部会QI研究 二次解析

### ●がん対策のため

肉腫の担当診療科分布の検証

子宮頸癌の治療前画像頻度の検証

### ●臨床上的実態調査

高齢者と若年者の医療の違い

治療前検査の実態調査(画像検査)

ガイドライン上の低い推奨度の診療に関する実態調査

データ提出時に二次解析の承諾はされているが、

解析方法等について、明確な規程が必要なため、規程を策定中

## 検討事項

### 院内がん登録 全国集計の公表方法等

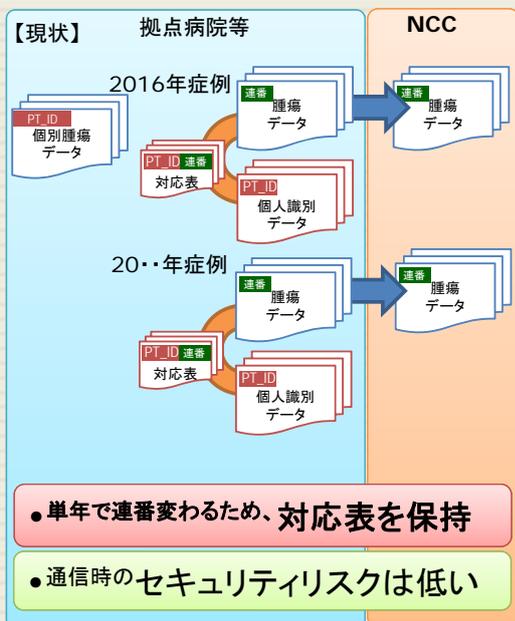
23

1. 集計値10以下の「ー」表示
  - 関係部局と調整した上、集計値の多寡を問わず、公表
2. コピー可のpdfファイルでの公開
  - 印刷 並びに テキスト・画像その他の内容のコピーも可に
  - EXCEL等の数値ファイルの提供
  - 公開数表については、施設名入り数表も含めて、MS EXCEL形式での提供を検討する
3. 個票データの連番を固有番号化( **C\_ID** ) 拠点病院  
連絡協議会に諮る
4. 県推薦病院の扱い
  - 2016年全国集計以降、拠点病院以外の全国集計について、県推薦病院に加え、手上げ方式で参加を募る

# C\_ID付与によるデータの複数年解析

24

- 現状は、単年データの集積
- 毎年、同一患者でも異なる連番が付与される



施設は、患者IDと連番の対応表を毎年保持する必要  
対応表の管理はかなり煩雑  
院内がん登録のシステム内で管理をしているものはほとんどない

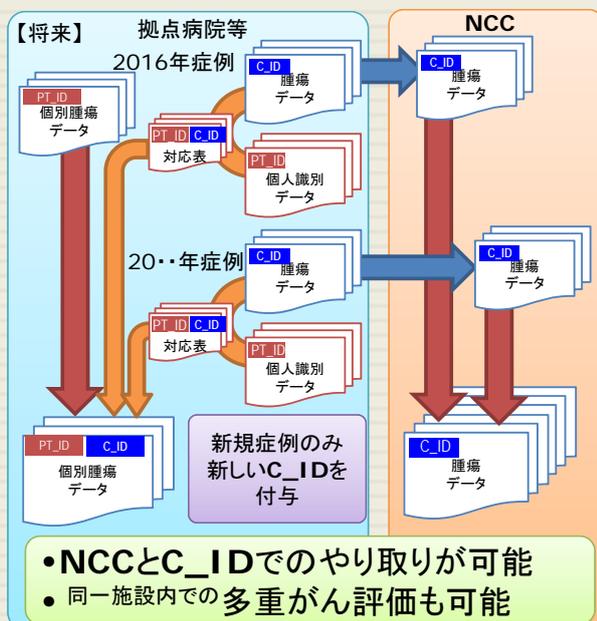
生存率解析の際には、現状は、施設での第1がんに対して解析  
複数のがん罹患する患者の増大により解析方法にも工夫が必要となる

Common ID (C\_ID)を  
全国集計0年時にNCCが発行。  
施設側は、システム内にC\_IDを患者IDと共に保持して保管。

# C\_ID付与によるデータの複数年解析

25

- C\_IDにより、複数年データによる多重がん解析
- NCCとのデータのやり取りでの共通IDとしての利用



いわゆる0年集計において  
多重がんの状況解析を行うことができる  
(施設をまたがった解析は不可能)

生存率解析において、  
多重がんの解析がNCC側で可能  
← データ還元の際して、  
多重がん要素も含んだ集計値を還元

システムの対応状況によっては、  
毎年の対応表から、PT\_IDとC\_IDを

院内がん登録システムで  
対応できる施設に対応してもらう

# 予後調査支援事業について

26

## 1. 県推薦病院の参加

- 来年度から(2011年5年の対象となる)  
県推薦病院からの参加についても許容

## 2. データ保持期間の延長

拠点病院  
連絡協議会に諮る

- 十分なセキュリティを確保した上で、  
**NCC**で10年程度の保管も可能にする  
(委託業務の形で契約を交わす形とする)
- 施設によって、  
従来通りの調査終了後「破棄」と  
「10年保管」を選択できる形とする